

# 成溪會誌

1987・12 No.66



# 成蹊学園近況

(成蹊学園  
総務課提供)

## 大学の近況

### ◇地域懇談会

昭和六十二年度の地域懇談会は、  
本学から瀬元学長をはじめ各学部長  
その他関係者が出席して、別表のと  
おり四会場で開催されました。

前半は、在学生父母との懇談会が  
行われ、はじめに学長から、成蹊大  
学の教育について説明があつて後、  
学部別に個別懇談に入りました。同  
時に就職相談も行いました。会場で  
は成蹊大学の一年間を紹介したビデ

オも放映され好評でした。

ひき続いて、今年度から新たに企  
画された、大学関係者と在学生父母  
および卒業生との懇親会が開かれ、  
会場のあちこちで懇親の輪がひろが  
り、各会場とも盛況のうちに散会と  
なりました。

また昨年続き、本学を会場とし  
た東京地区父母懇談会が、文学部  
(三年次対象)が十月三日(土)に、法  
学部(二、三年次対象)が十月十五日  
(木)にそれぞれ開催されました。

当日は、学長、学部長、学科主任

### 地域懇談会実施状況

開催日	開催地	会場
六月十三日(土)	福岡市	福岡繊維会館
六月十四日(日)	広島市	広島ガーデンパレス
六月二十七日(土)	名古屋市	名鉄グランドホテル
六月二十八日(日)	静岡市	ホテルサンルート静岡



ほか多くの教職員が出席し、大学の  
全体説明、学部・学科の現況説明等  
があり質疑応答もまじえて、盛会の  
うちに終了しました。

### ◇学内進学相談会

東京都および近県在住の高校生、  
予備校生、父母等を対象に去る七月  
二十三日(木)〈午後一時〜午後五時〉  
と八月二十日(木)〈午前十時〜午後  
四時〉の二回にわたり進学相談会を

実施しました。当日は各担当者が出  
席して個別相談に応じました。各学  
部・学科内容およびカリキュラムに  
ついて、また卒業生の就職状況、課  
外活動など熱心な質問が相つぎまし  
た。参加者(参加者数、計四百十八  
名)の中には遠く広島、岐阜、新潟  
から来校した者もおります。

これと並行して、主要な行事・授  
業風景等、四季を織りこんでの大学  
の一年間の生活を紹介したビデオの  
放映と希望者には学内施設の案内を  
行いました。

参加者のほとんどが成蹊のキャン  
パスは初めてで「緑が多く、自然の  
環境がすばらしい」「自分の志望す  
る大学がどういふ所か、はっきり分  
かって大変よかった」など、率直な  
感想をきくことができました。

### ◇成蹊大学公開講座

昭和五十八年度から一般社会人を  
対象に公開講座を開いてきました  
が、今年度は新しい企画をもとに  
「公開講座Ⅰ」として、七月二十二  
日(水)〜二十五日(土)の四日  
間、スポーツ教室(硬式テニス)を  
実施し、同じく「公開講座Ⅱ」とし  
て「万葉集のころとことば」を全

体テーマに、別表のとおり連続講座の講座は四十代と五十代で五割をこす参加がみられました。いずれも女性の参加者が多かったのが特徴でした。

月 日	講 座 名	講 師
9月3日(木)	一語の重さ	遠藤 宏 成蹊大学文学部教授
9月5日(土)	万葉集のことは	山口 佳 紀 聖心女子大学文学部教授
9月12日(土)	「恋」の世界	遠藤 宏 成蹊大学文学部教授
9月19日(土)	柿本人麻呂の創造	稲岡 耕 二 東京大学教養学部教授
9月26日(土)	大伴家持の達成	遠藤 宏 成蹊大学文学部教授

## 中学・高等学校の近況

### ◇中学・高等学校

#### 諸施設の改修

中学・高等学校の施設は昭和二十六年、中学校校舎が建築されて以来、三十有余年の間に整備、充実されて、今日に至っておりますが、一

部の施設には老朽化がみられるようになりまして。そこで、六十二年度の夏季休暇を利用して改修工事が行われ、一部の施設は趣きを一新しました。文化祭などで御来校の折に、御覧いただけるとよろしいかと思ひます。

今回の改修工事では、まず中学H・R棟の窓枠(北側)をサッシに改修し、加えて外壁塗装(北・東・西側)と内壁塗装(廊下・階段部分)の工事を行いました。この工事では、大規模地震の際の破損事故を最小限にするための安全措置が施されております。

次に、中高第一体育館の照明設備、内壁塗装、シャワー室の改修を行いました。

以上の他、高校食堂の壁、天井の塗装、照明設備の増設、中高理科館の照明器具の取替えなどの工事が行われました。

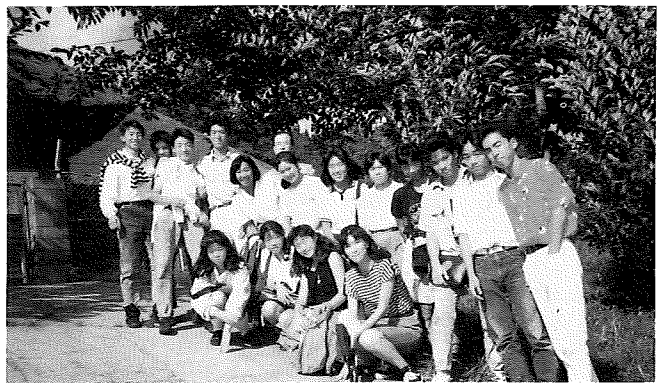
この改修工事により、建物の外観・内部ともに明るくなり、機能的にも生徒の学校生活に良い環境作りになりました。

### ◇高等学校

#### 夏の学習旅行

高等学校では、夏季休暇中に二年生の学習旅行夏コースが次のように行われました。いずれも三泊四日の旅程ですが、事前の学習を積んで、期間の割には中味の濃い旅行でした。(期間、参加生徒数、付き添い教員)

- 一、沓岐コース(七月二十二日～二十五日 三十名 青柳、武井、桂)
- 東京―博多―太宰府天満宮―唐津―呼子港―沓岐―島内見学―芦辺港―博多―東京
- 一、男鹿コース(八月三十一日～九月三日 十六名 高橋、中村)
- 東京―盛岡―小岩井農場―田沢湖―角館―八郎潟―入道崎―大潟村―寒風山―秋田―東京
- 一、木曾コース(八月三十一日～九月三日 十九名 吉崎、小宮山)



東京―塩尻―奈良井―鳥居峠―蕨原―木曾福島―寝覚の床―妻籠―馬籠峠―中津川―名古屋―東京

多くの高校卒業生の諸君が在学中に経験した修学旅行は、昭和五十五年度から、学習旅行と形を変えて行われております。従来行われていた修学旅行が全員参加で、学年全体で行動したり、時に希望コースに分か

れたりしましたが、現在行われている学習旅行は任意参加としております。その主旨は、むしろ積極的な参加意欲のある生徒によって、コース作りから事前の下調べ、調査を十分行い、旅行自体が生徒にとって生きた体験になるように、ということにあります。

具体的には、付添教員の助言をうけながら、参加生徒による事前の下調べなど、学習会が何回か行われ、実施計画の細部が決まっております。また、この事前学習は、付き添い教員も含めて、参加者の触れあいを生じ、実施へ向けて、はっきりした目的意識をもつようになり、旅行自体が一つの体験学習となっているように考えられます。そして、旅行終了後は、レポートにまとめたり、文化祭にその成果を発表したりしております。



今年度で八年目になりますが、夏、春の休暇中に年間約十コースが設けられ、任意参加とはいいながら、約七十%の生徒が参加しており、行事として定着しつ

## 小学校の近況

### ◇夏の学校実施と卒業生の協力

成蹊伝統の「夏の学校」を本年も次のように実施しました。

- 一年 七月二十三日から三泊四日 於 成蹊学園箱根寮
- 二年 七月十八日から四泊五日 於 成蹊学園箱根寮
- 三年 六月二日から四泊五日 於 成蹊学園箱根寮
- 五年 七月十八日から五泊六日 於 成蹊学園志賀高原寮

いつものことですが、本年も付き添い医師には、次の卒業生の方が参加してください。医師としてだけでなく、先輩として、登山・キャンプファイヤー・試胆会・人形劇等の夜の集會に至るまで大活躍していただき、大変感謝しています。

○付き添い医師名(数字は卒業回数)

すが、成果をあげており、今後ますます生徒の発想が生かされることを期待したいと思います。

(羽田野孝通・中学・高等学校教頭)

- 一年には、前半を井出道也氏(高21)後半を友利千之氏(高22)、二年には、前半を田辺規充(高20)後半を齊藤瑠璃夫氏(高8)、三年には、全期間を松村英幸氏(高17)：いつもは辻和男氏(高20)：、五年には、全期間を齊藤忠則氏(高20)が担当していただきました。
- 四年 七月二十一日から五泊六日 於 館山市 鳩山荘
- 六年 七月二十一日から五泊六日 於 成蹊学園波左間寮

付き添い医師は、四年生には、前半を梅沢伸介氏(高24)後半を森本晋氏(高15)、六年生には、前半を前田潔氏：いつもは許瑞光氏(高2)：、後半を山下亀次郎氏(高6)が担当していただきました。また、六年の遠泳の安全を一層図るために、今年初めて遠泳応援医師として川村次郎氏(旧高14)をお願いしました。



海での「夏の学校」は、生活指導と共に水泳訓練が主となりますが、この訓練は、水泳師範として多くの先輩方の協力を得て行われているのはご承知の通りです。

卒業生（社会人）の師範監督を中心に、大学生の師範、高校生の助手とによって、一学年約三十名の師範団を組んでの大活躍でした。水泳指導のみならず、その準備、片づけ等の労苦を厭わぬ行動力には、成蹊教育の伝統である不言実行の実践人の姿を見る気持ちが、頭の下がる思いがします。

高校生の助手、大学生の師範の活躍に感謝しつつ、ここには、卒業生の方の氏名だけを紹介させていただきます。（◎印は師範監督、○印は正・副主任師範）

- ◎島津裕之（政経10）
- ◎飯田太郎（政経15）
- 今泉 晶（法8）
- 楯 正親（工16）
- 浜田清俊（高26）
- 小川太一（政経18）



- 宮本敏志（法14）
- 六年
- ◎菅野建雄（政経13）
- ◎伊集院快比古（文5）
- 北條 明（経5）
- 高柳 京子（法3）
- 堀内みさ子（文9）
- 池田 智（高33）
- 大石理恵（高33）

◇海浜学習の実施

大潮あたりの五月二十六日から三泊四日で波左間寮に宿泊して実施。磯や海浜の動植物の観察・採集、大きな鍋で海水を煮つめて塩をとり出す実験、漁港と水揚げの見学、夜は星の観察等の学習を中心に、夏の学校に準じて生活指導を重視して行いました。

この海浜学習には、付き添い医師として星台治氏（高20）が全期間参加してくださいました。

◇夏休み中の合宿教室

五・六年の希望者（ほとんど全員）を対象に、指導教師の自発性により、そのねらい、費用負担等、夏の学校に準じて、学校行事として次のように実施しました。

- 科学合宿教室  
八月二十四日から四泊五日  
於 白馬 十一名参加
- 軟式テニス合宿教室  
八月二十六日から三泊四日  
於 野辺山高原 十一名
- サッカー合宿教室



- 野球合宿教室  
八月二十六日から四泊五日  
於 野辺山高原 四十一名
- バレーボール合宿教室  
八月二十六日から四泊五日  
於 成蹊小内 三十一名
- ラグビー合宿教室  
八月二十七日から四泊五日  
於 山中湖 三十五名
- 硬式テニス合宿教室

八月二十七日から四泊五日  
於 軽井沢 三十六名  
なお、校内で通いにより、美術教室も行いました。

◇私立小学校

研修会の会場校として

正式の名称は、「日本私立小学校連合会 東京地区研修会」と言い、六月十二日（金）成蹊小学校で開催されました。

当日は、都内の私立小学校は臨時休校とし、全教員が参加することが原則になっています。また、東北、関東、関西、西日本各地区の私立学校や国公立の教員の希望者の参加もあり、約二二〇〇名の参加者で盛大に行われました。

会場校と言っても、場所を提供するだけでなく、私学団体の各教科部からの要望があり、成蹊小教師による授業や研究発表・講演等も行いました。授業は、十四の学級で各教科にわたって公開し、発表・講演は六人の教師が該当分科会で行いました。

分科会は、大学の教室も一部借りて、国語、社会、算数、理科、音楽、図工、家庭、体育、学校図書



館、学校劇、視聴覚、外国語、教育課程、学級経営、学校保健の十五会場、午後五時まで熱心な発表、討議が行われました。

◇理科室内部改造等

現在の理科室は、建設後約三十年を過ぎ、今日では自慢できる施設でもなく、学習に不便を来すようになりました。そこで、本年度から二年計画で内部の改造をすることにし、

天井、床、照明器具、観察台、配線配管等の取り替え工事、実験机、戸棚等の新規取付け等を行い、見違える程新しくなりました。

また、本館の児童机、作業机、児童用ロッカー、棚も年次計画によってほぼ整備されてきました。

こうした、恵まれた環境、設備のもとに教育内容の充実に向けて、一層の努力をしていこうと、目下「教育課程の改善」に向けて研究を進めているところです。

（木村定司・小学校長）

昭和63年度 学生・生徒・児童募集案内

学 校	学 部	募 集 人 員	願 書 受 付 期 間	入 学 試 験 日	合 格 発 表 日
大 学	経済学部	400名	1月12日（火）	2月21日（日）	2月28日（日）
	文学部	280名	1月12日（火）	2月19日（金）	2月25日（木）
	理工学部	390名	1月29日（金）	2月20日（土）	2月26日（金）
	工学部	350名		2月22日（月）	3月29日（月）
高 等 学 校		約 110 名	1月26日（火）	2月18日（木）	2月20日（土）
			1月30日（土）		
中 学 校	男子	約 80 名	1月20日（水）	2月1日（月）	2月2日（火）
	女子	約 30 名	1月23日（土）		

※高等学校海外帰国子女、2年編入、小学校3年編入および国際特別学級（小・中）の入試日程の細目については、当該学校事務室にお問い合わせください。なお、小学校入試は11月4、5日に行われました。

# 成蹊会報告

昭和62年5月1日  
昭和62年10月30日

## 一、会議

### ○理事会

第97回理事会(62・5・19)

- (1) 昭和61年度事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案承認の件
- (2) 財産目録(昭和62年3月31日現在)承認の件
- (3) 成蹊会特別会員(教職員)推薦の件
- (4) 学術・教育助成要項の一部を改正する件

第98回理事会(62・7・13)

- (1) 成蹊会 会長・副会長・常務理事互選の件
- (2) 成蹊会 特別委員会委員選任の件
- (3) 第29回謝恩顕彰会開催の件

### ○会員総会

第32回通常会員総会(62・6・29)

- (1) 昭和61年度事業報告及び収支計算並びに剰余金処分案承認の件
- (2) 財産目録(昭和62年3月31日現在)承認の件
- (3) 昭和62年度事業計画及び収支予算案承認の件
- (4) 成蹊会評議員選任の件

### ○評議員会

第34回評議員会(62・6・29)

- (1) 成蹊会理事及び監事選任の件

### ○特別委員会

成蹊クラブ委員会(62・5・6)

財務委員会(62・5・7)

育英奨学委員会、学術・教育研究委員会(62・6・16)

### ○同窓会

やよい会総会(62・5・16)

## 二、人事

### ○会長・副会長・常務理事(7月13日・第98回理事会)

会長 生野専吉(旧高6回)

副会長 青葉翰於(実務8回) 永井邦夫(旧高8回)

高橋 靖(政経6回) 梶谷 玄(高校4回)

常務理事 谷岡喜久蔵(旧高11回)

### ○理事・監事(6月29日・第34回評議員会)

評議員(6月29日・第32回会員総会)

○印 理事・評議員(兼任) 三十名

△印 監事・評議員(兼任) 三名

無印 評議員(総数) 九十三名

○安藤 創造(政経8) ○青葉 翰於(実8) 赤羽 紀武(医歯7)

赤星 平馬(中8) 赤星 有一(法4) 朝倉 孝吉(旧高16)

浅田 衛(経3) 栗飯原景昭(旧高20) 井原 一雄(高7)

○井本 農一(旧高6) 伊東 明(専3) ○伊藤 和敬(法2)

碓本 勘二(高8) 碓本 博(経1) 池川 美幸(文16)

池田 重隆(旧高17) 池田 孝夫(高10) ○石坂 泰彦(政経1)

○板倉 喜一(小22) ○今村 知雄(旧高10) ○岩崎英二郎(旧高15)

○岩崎 寛弥(旧高23) 瓜生 芳久(工8) ○小川 孝一(経2)

小野 宗一(旧高2) 大島 篤(女11) 大島 庸元(工2)

## 昭和六十二年(秋) 叙勲・褒章受章者

### 勲二等旭日重光章

佐藤 功(特別会員) 上智大学名誉教授

### 勲三等瑞宝章

川島一郎(旧高11年卒) 東然石油化学常勤顧問  
村瀬興雄(特別会員) 成蹊大学名誉教授

### 藍綬褒章

入江貞夫(旧高15年卒) 日鐵商事社長  
松本英二(旧高17年卒) 帝国石油副社長

(敬称略・叙勲は勲三等以上・本会調べ)

○岡田 健(工2) ○加藤 俊秀(工4) 加藤 英夫(中2)

○梶谷 玄(高4) 片岡ちづか(文17) 川瀬 一馬(実9)

北畠 裕子(女22) 久保 盛唯(旧高24) ○倉島 喜一(文4)

栗原美能留(中4) 黒川 義雄(小15) ○桑田 桂子(文1)

○桑田 成美(経1) 小池麒麟(医歯2) ○河野 義克(旧高6)

佐治 邦彦(工2) 酒井 四平(政経2) ○篠原 周平(高2)

○島田喜久子(女17) ○生野 専吉(旧高6) ○進藤 次郎(中7)

菅原 作蔵(専5) 高田 亨(実11) ○高橋 靖(政経6)

高橋 道哉(工11) 高橋 元雄(実8) ○谷岡喜久蔵(旧高11)

丹治 誠(高3) ○丹治 道生(旧高4) 力石 浩(法3)

塚原 俊平(政経18) 土井 厚(旧高13) 戸谷洋一郎(工2)

○永井 邦夫(旧高8) 橋本 竹夫(工5) ○畑田 正樹(法1)

浜中 泰男(法1) 林 進(経4) 林 醇一郎(工1)

原田 住江(小19) △平塚 保明(旧高1) 平本 勉(法4)

布川 純子(文9) △福田 恒雄(政経1) 藤田 暉夫(政経3)

堀 洋二(医歯4) 前沢 三郎(工1) ○牧田 祐治(政経2)

松沢 裕一(政経8) 松平 一郎(中9) 水谷 政静(旧高9)

宮本 雄治(小27) 武藤 正司(法8) ○宗像 英二(旧高1)

法学部委員会(62・6・2)

高校(新制)委員会(62・9・8)

プレメ幹事会(62・10・6)

法学部委員会(62・10・13)

### ○支部会

九州支部会(62・6・13・福岡市)

中国支部会(62・6・14・広島市)

東海支部会(62・6・27・名古屋市)

千葉支部会(62・7・4・千葉市)

村井 勇夫(旧高16) 村上 藤太(中5) 室橋 俊樹(高19)

森 一也(政経6) 森 紀二(高9) 安田 敬一(政経2)

△山中 良平(政経6) 山本 亨介(政経3) ○山本 龍二(医歯1)

○山本 良介(高4) 湯川 佳宣(医歯4) 渡辺 次郎(高5)

### ○特別委員会委員(7月13日・第98回理事会)

財務委員会 十名

緒方四十郎(旧高20) 岸田 昭(旧高22) 小林 繁(旧高16)

高野 健次(旧高17) 高橋 靖(政経6) 平塚 保明(旧高1)

牧田 祐治(政経2) 皆木 肇(旧高23) 森本 隆(旧高16)

渡辺 昌郎(政経2) 栗飯原景昭(旧高20) 新居 嗣郎(高4) 井本 農一(旧高6)

栗飯原景昭(旧高20) 新居 嗣郎(高4) 井本 農一(旧高6)

伊集院 董(旧高12) 岩崎英二郎(旧高15) 小原 正弘(旧高5)

尾高 一(旧高13) 兼子 仁(高4) 佐藤 厳雄(政経9)

前沢 三郎(工1) 兼子 仁(高4)

学術・教育助成委員会 十名

栗飯原景昭(旧高20) 新居 嗣郎(高4) 井本 農一(旧高6)

伊集院 董(旧高12) 石原 智男(旧高17) 岩崎英二郎(旧高15)

小原 正弘(旧高5) 尾高 一(旧高13) 兼子 仁(高4)

城戸 毅(高5)

成蹊クラブ委員会 十名

岩佐 威(政経2) 岩崎 健三(政経4) 菅野 建雄(政経13)

桜井 治(政経1) 斎藤 敏夫(政経2) 滝 秀彦(政経9)

沼野 昌平(政経1) 福田 恒雄(政経1) 森 紀二(政経11)

山本 良介(政経6) 山本 良介(政経6)

広報委員会 十名

石坂 泰彦(政経1) 小島 明(政経4) 小島 勉(政経2)

園田 信行(政経4) 広瀬 正弘(高4) 藤田 暉夫(政経3)

松沢 裕一(政経8) 松田 直子(女28) 森 一也(政経6)

山本 亨介(政経3)

○同窓会役員

池袋同窓会

会長 青葉 翰於(美8)  
副会長 進藤 次郎(中7)

小学校同窓会

会長 板倉 喜一(22)  
副会長 黒川 義雄(15)  
" 原田 住江(19)  
" 宮本 雄治(27)

やよい会(女学校)

会長 島田喜久子(17)  
副会長 北畠 裕子(22)

高校(旧制)同窓会

会長 永井 邦夫(8)  
副会長 今村 知雄(10)

高等学校同窓会

会長 梶谷 玄(4)  
副会長 篠原 周平(2)  
" 丹治 誠(3)  
" 高橋 靖(4)  
" 山本 良介(4)  
" 井原 一雄(7)  
" 碓本 勤二(8)  
" 池田 孝夫(10)  
" 渡辺 次郎(5)  
副幹事長 森 紀二(9)  
" 室橋 俊樹(19)

大学政治経済学部同窓会

会長 高橋 靖(6)  
副会長 石坂 泰彦(1)

副会長 牧田 祐治(2)

" 藤田 暉夫(3)

" 森 一也(6)

" 安藤 創造(8)

" 塚原 俊平(18)

幹事長 酒井 四平(2)

副幹事長 松沢 裕一(8)

大学医歯学進学課程同窓会

会長 山本 龍二(1)  
副会長 小池 麒一郎(2)

" 堀 洋二(4)

" 湯川 佳宣(4)

" 赤羽 紀武(7)

大学経済学部同窓会

会長 小川 孝一(2)  
副会長 碓本 博(1)

" 桑田 成美(1)

" 林 進(4)

幹事長 浅田 衛(3)

大学工学部同窓会

会長 岡田 健(機2)  
副会長 前沢 三郎(機1)  
" 戸谷洋一郎(化2)  
" 佐治 邦彦(経2)  
" 大島 庸元(電2)  
" 加藤 俊秀(化4)  
" 瓜生 芳久(電8)  
" 林 醇一郎(経1)

幹事長 橋本 竹夫(機5)

副幹事長 高橋 道哉(経11)

副幹事長 滝口 泰之(化10)

大学文学部同窓会

会長 倉島 喜一(文4)

副会長 桑田 桂子(文1)

" 布川 純子(日9)

幹事 池川 美幸(日16)

" 片岡ちづか(日17)

大学法学部同窓会

会長 畑田 正樹(1)  
副会長 伊藤 和敬(2)

副会長 浜中 泰男(1)

" 力石 浩(3)

" 赤星 有一(4)

" 平本 勉(4)

幹事長 武藤 正司(8)

副幹事長 鈴木 茂之(8)

" 寺岐 正(13)

" 小池 朗(14)

" 岡村 彰彦(15)

三、催事

○第27回日本寮歌祭(62・10・3・日比谷公会堂)

○第29回成蹊会謝恩顕彰会(62・10・27・成蹊クラブ)

四、刊行物

○成蹊会誌第65号発行(62・6・1)

五、寄付金(敬称略)

○成蹊会50周年記念事業

故森新太郎(旧高1回) 百万円

市村 隆吉(実務8回) 百万円

北沢 和彦(政経1回) 十万円

○育英奨学基金

一世印刷(株) 十万円

○学術・教育助成基金

伊集院 董(旧高12回) 二十万円

安藤ゼミ同窓会 五万円

昭和62年12月1日

編集兼発行人 谷岡 喜久蔵

発行所 社団法人 成蹊会

〒180 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

電話 0422・51・2244